

第25回 東備西播定住自立圏形成推進協議会 会議録

1 日 時 令和2年3月16日(月) 13:55～14:25

2 場 所 赤穂市役所 6階 大会議室

3 出席者

(1) 委 員

牟礼 正稔	赤穂市長
藤本 大祐	赤穂市副市長
釣 昭彦	赤穂市議会議長
土遠 孝昌	赤穂市議会副議長
田原 隆雄	備前市長
高橋 昌弘	備前市副市長
立川 茂	備前市議会議長
橋本 逸夫	備前市議会副議長
遠山 寛	上郡町長
檉村 孝一	上郡町副町長
梅田 修作	上郡町議会議長
立花 照弘	上郡町議会副議長

(2) 幹 事

赤穂市：平野市長公室長  
備前市：佐藤市長公室長  
上郡町：宮下企画政策課長

(3) 事務局及び各市町担当者

赤穂市：山内企画広報課長、玉木企画政策係長、門口主事  
備前市：岩崎企画課長、吉田企画係長

(4) 説明員

①教育施設部会：米口部会長（赤穂市スポーツ推進課長）  
②給食部会：深澤部会長（上郡町教育総務課長）  
③観光部会：平松赤穂市産業観光課観光係長  
④農林商工部会：笠原部会長（赤穂市産業観光課長）  
⑤交通部会：(山内書記)  
⑥通信情報部会：前田部会長（赤穂市情報政策担当課長）  
⑦職員部会：明石部会長（赤穂市人事課長）  
⑧交流定住部会：松本部会長（赤穂市市民対話課長）  
⑨地域医療分野：長坂部会長（赤穂市民病院事務局長）

#### 4 会議の概要

- (1) 開 会
- (2) 会長あいさつ 牟礼赤穂市長
- (3) 協議事項
  - ・第26号議案 東備西播定住自立圏共生ビジョン（令和2～6年度）の策定について
  - ・第27号議案 令和2年度東備西播定住自立圏形成推進協議会予算について
- (4) その他
- (5) 閉 会

#### 5 議事の概要

事務局

失礼いたします。定刻前ではございますが、ただ今から始めさせていただきたいと思っております。

初めに、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、発言につきましては、皆様、マスクをつけたままをお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

それでは、改めましてただ今から、第25回東備西播定住自立圏形成推進協議会を開催いたします。本日の進行をさせていただきます、赤穂市市長公室長の平野です。よろしくお願いいたします。

始めに、本日の傍聴につきましては、報道の方以外にはございませんのでご報告をさせていただきます。

報道の方をお願いいたします。会議中の写真撮影等にご遠慮いただきたいと思います。ご希望の場合は、ただ今から「会長あいさつ」まで認めたいと思っておりますので、その間をお願いします。

それでは、開会にあたりまして会長であります赤穂市の牟礼市長より挨拶を申し上げます。

牟礼会長

改めまして、皆様こんにちは。本日は、年度末のお忙しい時期にも関わらず、第25回東備西播定住自立圏形成推進協議会にご出席を賜り、誠にありがとうございます。

また、新型コロナウイルス感染症が全国各地で発生しており、対策等いろいろご多忙中にも関わらず、ご出席いただきまして改めてお礼を申し上げます。

さて、東備西播定住自立圏構想につきましては、平成27年度からの共生ビジョンに基づき、5カ年計画で事業を実施しているところであり、今年度が最終の年度となります。

魅力ある圏域づくりと地域課題の解決に向けて、様々な分野で連携事業を進めているところですが、令和2年度からの次の5年間に向けて、新たな目標を設定し、圏域の交流と連携を進めていく必要があります。

委員の皆様にも、それぞれのお立場でご尽力を賜り、今後も圏域事業への更なるご理解とご協力をいただきたいと存じます。

本日は、今後5年間の方針を定める共生ビジョンの策定及び令和2年度予算についてご協議をいただくことといたしております。

委員各位の忌憚のないご意見をいただきますようお願い申し上げまして、簡単ではありますが、開会のあいさつとさせていただきます。どうぞよろしく願いいたします。

事務局

ありがとうございました。なお、お手元に委員名簿並びに部会別役割分担表を配布しておりますので、後ほどご覧ください。

報道関係の皆様、以上で撮影の時間を終了させていただきたいと思います。

それでは会長、議事進行をお願いいたします。

牟礼会長

それでは、3の協議事項に入ります。

まず、協議事項（1）第26議案 東備西播定住自立圏共生ビジョン（令和2～6年度）の策定について、事務局から説明をお願いします。

事務局

それでは、東備西播定住自立圏共生ビジョン案についてご説明いたします。

昨年12月26日の協議会におきまして、令和2年度から6年度までの5か年の共生ビジョン案をお示しし、ご了解をいただきました。

本日は、正式に議案としてご決定をいただくにあたり、本日お配りした共生ビジョン案につきましては、令和2年度事業の予算査定等を反映したものとなっておりますので、12月にお示ししたビジョン案との変更点についてご説明させていただきます。

説明につきましては、お手元のA3の1枚ものの資料1、東備西播定住自立圏共生ビジョン事業一覧表をご覧ください。

文字が小さくて恐縮ですが、左側に前回協議会でお示しした共生ビジョン案、右側に今回の共生ビジョン案の各事業に係る事業費等を記載しております。

変更部分につきましては、網掛けとなっている個所になります。

右側、今回の共生ビジョン案の1生活機能の強化に係る政策分野の、ア医療の、地域医療の連携の一番上の欄、医療連携研究事業ですが、令和2年度から6年度までの事業費について、前は各年度36万6千円でしたが、36万7千円に変更しております。

次に、その下の、イ教育の生涯学習の推進の中ほどから少し下、圏域中学生体験（社会福祉・看護・教育）プログラム事業ですが、前は各年度115万6千円でしたが、115万円に変更しております。

次に、ウ産業振興の一番下、企業誘致の推進ですが、前は各年度140万円でしたが、131万4千円に変更しております。

次に、2 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野のア、地域公共交通ネットワークの構築の圏域バス運行事業ですが、今回は各年度 1, 480 万円でしたが、1, 463 万 1 千円に変更しております。また、JR 利便性向上事業につきましては、13 万円を 5 万 5 千円に変更しております。

次に、ウ地域内外の住民との交流・移住促進の移住促進の欄の、定住相談員設置事業ですが、今回は各年度 770 万円でしたが、789 万 1 千円に変更しております。

次に、一番下の 4、事務局に係る経費ですが、今回は各年度 338 万円でしたが、343 万 1 千円に変更しております。

この結果、一番上の欄になりますが、令和 2 年度の事業費は、総事業費として、8, 710 万 3 千円、うち協議会事業費は 4, 310 万 3 千円、5 か年のトータルでは、総事業費として 4 億 3, 697 万 5 千円、うち協議会事業費は 2 億 1, 697 万 5 千円となります。

以上の事業費の変更につきましては、令和 2 年度の予算査定によるものでございます。なお、令和 3 年度以降の事業費につきましては、今後事業の進捗や計画変更に合わせて、適宜、事業費の見直し、変更を行うこととしております。

次に、右から 2 つ目の「現状値」と記載された欄に網掛け箇所が入っております。これにつきましては、前回 12 月時点でお示ししました数値は、直近の平成 30 年度の数値を記載しておりましたが、今回、令和元年度の数値を現状値として変更しております。以上の変更を加え、整理したものが、今回配布させていただいております「東備西播定住自立圏共生ビジョン（令和 2～6 年度）」の冊子になります。説明は以上でございます。

牟礼会長

ありがとうございました。事務局の説明は終わりました。  
ただ今の説明について何か質問等ありますか。

「異議なし」

牟礼会長

無いようでしたら、東備西播定住自立圏共生ビジョン（令和 2～6 年）につきまして、原案のとおり可決することで、ご異議ございませんか。

「異議なし」

それでは、東備西播定住自立圏共生ビジョン（令和 2～6 年度）につきましては、可決させていただきたいと思っております。

続きまして、(2) 第 27 号議案 令和 2 年度東備西播定住自立圏形成推進協議会予算について、事務局から説明をお願いします。

それでは、お配りしております共生ビジョンの冊子によりまして、各事業の令和2年度の事業内容と予算額についてご説明させていただきます。

お手元の共生ビジョンの冊子の7ページをお願いいたします。

医療分野について、まず、医療連携研究会事業であります。例年と同様に、医師や看護師、医療技術者を対象に、先端医療の現状について講演、指導等を仰ぐ連携研究会を行うもので、講師に係る報償費、旅費、会場使用料など、事業費は36万7千円であります。

次に8ページ、看護職員教育研修支援事業であります。看護職員の教育研修のためのシミュレータ等の教育機材として、令和2年度は点滴・採血トレーナーや注射パッドを購入し、4公立病院の新人看護職員を中心とした技術取得等のレベルアップを図るもので、事業費は50万円であります。

次に、圏域住民診療支援事業であります。備前市及び上郡町の住民が赤穂市民病院で出産した場合の助産料について、赤穂市民と同額になるよう、協議会がその差額を負担するものでありますが、ご案内のとおり、平成29年9月より赤穂市民病院の産婦人科が分娩休止となり、現在も再開の目途は立っておりませんが、再開時には予算が必要となるため、過去の実績ベースの約半分となります50万8千円を予算計上しております。

次に、教育関係になります。9ページの日本遺産を活かした地域の魅力向上事業であります。この事業は、今回のビジョン改定により新たに実施するもので、備前市及び赤穂市の4つの日本遺産を活かし、圏域の歴史特性の再発見を通じて圏域住民の相互理解と、圏域の歴史文化の魅力を発信することによって、交流人口の拡大や観光振興を図るものでございます。日本遺産に関する講演会やシンポジウム等を2市1町で開催するもので、講師に係る報償費、旅費、会場使用料など、事業費は50万円であります。

次に、10ページの図書館相互利用推進事業につきましては、各図書館で借りた本をどの図書館へでも返却できるように令和元年度から実施しております。

図書館相互間で返却資料の託送経費を含め、事業費40万円を計上しております。

次に、10ページ下段から11ページをお願いいたします。図書館読書活動推進事業及び文化・スポーツ交流事業、文化スポーツ施設相互利用促進事業につきましては、事業費はございません。

次に12ページ、トップアスリート等招聘事業であります。こちらは、国内外で活躍するトップアスリートやトップチームを招聘し、圏域住民が参加する魅力あるスポーツイベントを実施するもので、令和2年度は上郡町において少年野球教室を開催する予定です。事業費は110万円を計上しております。

次に、下段、中学校吹奏楽部交流助成事業であります。音楽を通じた地域活性化に取り組む市民団体と連携して実施する、2市1町の中学校吹奏楽部交流事業に対して助成を行うもので、会場使用料、バス借上げに係る経費が主なもので

あります。事業費は、70万円であります。

次に、13ページ「圏域中学生体験（社会福祉、看護、教育）プログラム事業」であります。圏域内の中学生が、関西福祉大学において専門的なプログラムを体験するもので、移動用のバスの借上げと教材用消耗品に係る経費が主なものであります。事業費は115万円であります。

次の赤穂市生涯学習施設整備事業は、赤穂市文化会館を赤穂市が負担して整備するもので、事業費は1,500万円であります。

次に、14ページの備前市生涯学習施設整備事業は、備前市民センターを備前市が負担して整備するもので、事業費は1,500万円であります。

その下、上郡町スポーツ施設整備事業は、上郡町スポーツセンターを上郡町が負担して整備するもので、事業費は1,400万円であります。

次に、15ページをお願いいたします。学校給食連携事業であります。こちらは事業費は計上しておりませんが、給食として提供する献立を圏域内の市町で活用するものとしております。

続きまして、16ページをお願いいたします。産業振興についてであります。

はじめに、地域ブランド発掘事業ですが、圏域の魅力を内外に発信するため、農業、商業、工業者等によるイベントの開催や出展支援、新製品開発支援など、地域ブランド発掘のための事業を行うもので、支援のための補助金が主な経費で、事業費は70万円あります。

次に、17ページ、観光振興推進事業であります。昨年度に引き続き、東備西播圏域への観光インバウンドへの取り組みとして、台湾マーケットに向けた広域周遊ルートの商品の造成に向けた具体的なコースプランを制作する予定です。事業費は、150万円あります。

次に、18ページ、有害鳥獣対策事業であります。圏域内各市町の共通課題であります野生動物対策について、効果的な獣害低減策に関する情報の共有化や、獣害防護柵の設置支援を実施するとともに、各市町の猟友会活動の側面的支援を行うもので、消耗品及び防護柵等設置に係る補助金であります。事業費は、80万円あります。

次に、19ページ、企業誘致促進事業であります。令和2年度は、自治体と企業のマッチングセミナーに出展したり、東京にオフィスがあるIT企業等が圏域内にオフィスを開設する場合の視察旅費を助成したりするなどの費用として、事業費は131万4千円あります。

次に、20ページをお願いいたします。地域公共交通関係であります。まず、圏域バス運行事業ですが、圏域住民の移動手段の確保による利便性向上を図るため、引き続き圏域バスを運行いたします。事業費は、1,463万1千円あります。

次に、下段、JR利便性向上事業であります。引き続きJR山陽本線及び赤穂線を利用する圏域住民や圏域訪問者の移動手段確保と利便性の向上を図るため、

J R 西日本神戸支社及び岡山支社への働きかけを行うための旅費等を予算計上しております。事業費は、5万5千円であります。

次に、21ページのICTインフラ整備関係であります。地域情報活性化事業につきましては、圏域内の地域情報の交流と住民への情報周知を図るためホームページを運営するものでありますが、ともリンクの運営につきましては無償となっており、またリーフレットにつきましても、庁内印刷をしておりますことから、事業費の計上はございません。

次に、22ページをお願いいたします。地域内外の住民との交流・移住促進についてであります。まず、民間イベント等助成事業でございます。圏域内外の住民交流の促進と賑わいの創出、相互の理解を深めるため、圏域内の複数の市町において実施する民間イベント等に対し、最高10万円の助成を行うものであります。令和元年度は、14団体から申請があり、そのうち新規が4団体、5回を超える団体が5団体ございました。この事業につきましては、共生ビジョン懇談会をはじめ幹事会等でも、同じ団体ばかりに助成を行うことに対するご意見をいただきました。そのため、令和2年度においては、申請が10回を超える団体については、助成対象から除外することとし、また助成額も20万円を上限額としておりましたが、10万円に引き下げることとしております。事業費は、156万円であります。

次に、下段、こどもと学生のふれあい活動支援事業であります。関西福祉大学の学生ボランティアにより、圏域のこどものための宿題教室等、こどもと学生がふれあう活動に対して大学と協議会が半分ずつ負担して事業を実施するもので、事業費は、11万円あります。

次に、23ページの地域連携フォーラム支援事業であります。関西福祉大学が、福祉、看護、教育の視点から、様々な地域課題の問題解決に向けて取り組む地域連携フォーラムに対して支援を行うもので、経費の2分の1を負担するものであります。事業費は、90万円あります。

次に、24ページ、定住相談会開催等事業であります。2市1町合同による定住相談会を、大阪や東京など主要な都市で開催し、各市町の定住支援情報を発信するなど、移住・定住先として本圏域を選択してもらえよう働きかけを行います。また、令和2年度は、ラジオ関西の番組において、「LOVEしてAKB」と題して、東備西播のコーナーを設けてPRを行うなど、東備西播のさらなる魅力発信に努めることとしております。事業費は、380万円あります。

次に、25ページ、縁結び事業であります。こちらは、男女の出会いイベント事業を引き続き実施するもので、事業費は60万円あります。

次に下段、定住相談員設置事業につきましては、平成28年度より2市1町に定住相談員をそれぞれ1名ずつ配置し、定住相談会や定住に関わります様々な事務に従事していただいております。その人件費に係るもので、事業費は

789万1千円であります。

次に、26ページ、圏域内の職員等の交流についてであります。まず、職員研修事業ですが、職員の能力向上を図るため、圏域内の共通課題をテーマに2市1町の職員を対象とした集合研修等を実施するもので、事業費は30万6千円であります。

次に下段、人事労務担当職員研究会（交流）事業であります。関係市町の人事担当部署が人事労務に係る情報交換を図る研修・交流会を持ち回りで開催するもので、事業費はございません。

次に、27ページ、専門家招へい事業であります。高度で専門的な知識・技術等を有するなど、行政運営の見識が深く、専門的な立場から指導・助言できる専門家を招へいし、職員育成を図るもので、講師の報償費や旅費など事業費は、28万円であります。

次の、28、29ページには、字が大変小さくて恐縮でございますが、事業費の一覧表を添付しております。総事業費は、28ページの見出しの下のマス目、「令和2年度事業費」の欄の総事業費、8,710万3千円となります。

その下の「うち協議会事業費4,310万3千円」であります。これは、中ほどの「生涯学習の推進」のところまで網掛けになっている3つの事業がございまして、これら3つのハード事業は、それぞれ各市町の予算で実施するものでございますので、これらを総事業費から除いた金額が協議会事業費となっております。

恐れ入りますが、A4縦のもの、令和2年度東備西播定住自立圏形成推進協議会 歳入歳出予算と書かれた資料をお願いいたします。

こちらは、先ほどご説明させていただきました協議会事業に係る予算を、費目別に分類した経費を歳入、歳出として記載しております。

また、歳出には、予備費として10万円を加えております。

これにより、令和2年度東備西播定住自立圏形成推進協議会予算総額は、協議会の事業費4,310万3千円に、予備費の10万円を加えた、4,320万3千円となるものであります。

以上で、令和2年度東備西播定住自立圏形成推進協議会予算の説明を終わります。

牟礼会長

ありがとうございました。事務局の説明は終わりました。

ただ今の説明について何か質問等ありますか。

「ありません」

無いようでしたら、ただいま説明がありました令和2年度東備西播定住自立圏形成推進協議会予算につきまして、原案のとおり可決することで、ご異議ござ

いませんか。

「異議なし」

ありがとうございます。

それでは、令和2年度東備西播定住自立圏形成推進協議会予算につきましては、可決といたします。

続きまして。4のその他ですが、事務局から何かありますか。

事務局

まず、本日決定をいただきました共生ビジョンと予算に基づき、各部会において令和2年度も様々な交流事業を実施してまいりますので、委員の皆様におかれましては、時間が許せば、ぜひご参加いただきますようお願いいたします。

なお、冒頭にも申し上げましたとおり、コロナウイルス感染症の関係で今後事業の執行に影響が出てくる場合がございますので、各担当部局において適切に判断を行い、事業の執行に努めます。

次に、次回協議会の日程についてであります。今後の状況により、改めてお知らせさせていただきます。

以上です。

牟礼会長

ありがとうございます。

冒頭に申し上げるべきでしたが、東備西播定住自立圏事業の中学校吹奏楽交流助成事業につきましては、コロナウイルス感染症の関係で中止とさせていただきます。楽しみにしておられた方もいらっしゃると思いますが、ご事情ご賢察の上よろしくをお願いいたします。

次回開催につきましては、先ほど事務局から連絡しましたとおり改めて通知させていただきたいと思っております。また、各種事業への参加についても、皆さん、よろしくお願ひします。

その他にありませんか。

「ありません」

無いようですので、本日の会議は終了します。

お忙しい中、お集まりいただき誠にありがとうございました。引き続き、東備西播定住自立圏の運営につきましてご支援ご協力を賜りたいと思ひます。

本日は、ありがとうございました。